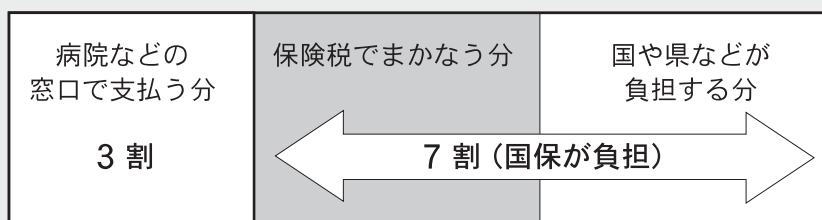


医療費は増加の一途

わが国では、すべての人がいずれかの医療保険に加入するという国民皆保険制度のもと、誰もが安心して医療を受けられるようになっていきました。それぞれの市区町村が運営する国民健康保険（以下、国保）は、この制度を支える大きな柱のひとつです。日野町では、約5600人の方が国保に加入されています。日野町が運営する国保の現状について紹介いたします。毎年増加する医療費の支払いに対応するため、財源を確保して健全な財政運営を図らなければなりません。ご理解とご協力をお願いします。

国民健康保険財政への影響

医療費の負担のしくみ（就学児以上65歳未満の場合）



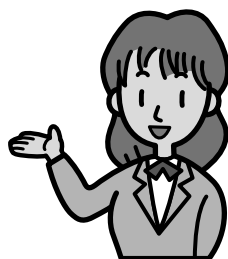
国保が負担する分の約50%を保険税でまかなうしくみとなっています。

◆国保を支える主な財源

国保は、病気やケガに備えて、加入者みんなで保険税を出し合い、医療費の負担や加入者の健康づくりに役立つ助け合いの制度です。国保制度を支える主な財源は加入者から納めていただく保険税と国からの補助金などです。そのため、国保全体で支払う医療費が増えれば、国からの補助金はもとより、加入者が負担する保険税も当然増えるしくみとなっています。

◆厳しさを増す国保財政

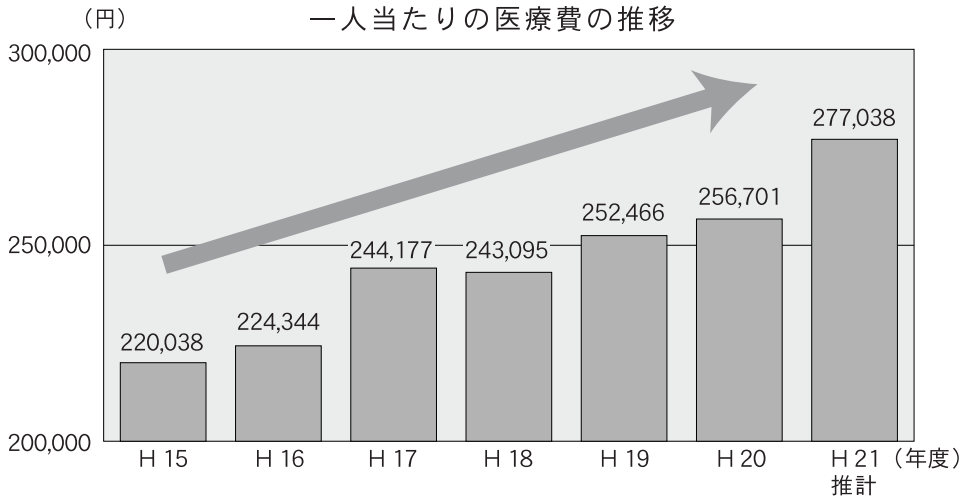
国保は、自営業者や農業従事者、パートなど、会社の健康保険（協会けんぽ、健康保険組合など）に加入されていないすべての人を対象としているため、他の健康保険と比べて、高齢者や低所得者の加入割合が高いという構造的な問題を抱えています。一人当たりの医療費は加齢とともに高くなっていきますので、高齢者が



多いということは、国保が負担しなければならぬ医療費も多いということになります。このような構造的なしくみが、国保財政を圧迫する大きな要因となっています。

◆伸びている国保の医療費

加入者の高齢化や医療技術の高度化などで医療費は増加傾向にあります。日野町国保の医療費は、年々増加しています。一人当たりの医療費では、平成15年度は約22万円でしたが、平成20年度には約25万6千円に



達しており、約16.6%も伸びています。さらに、平成21年度の医療費の状況を9月末現在で比較しますと、平成20年度を大きく上回る状況が続いています。

医療費が増える原因

【人口構造の高齢化】

医療を受ける回数が多く期間が長い中高齢者の人口が増加傾向にあります。

【生活習慣病の増加】

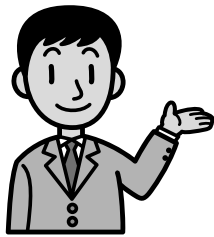
長期療養を必要とする心臓病やがん、脳卒中など生活習慣病と呼ばれる慢性疾患の患者が増えています。

【医学・医療技術の進歩】

新しい機器や薬などが開発されたことで、治療にかかる費用も増えています。

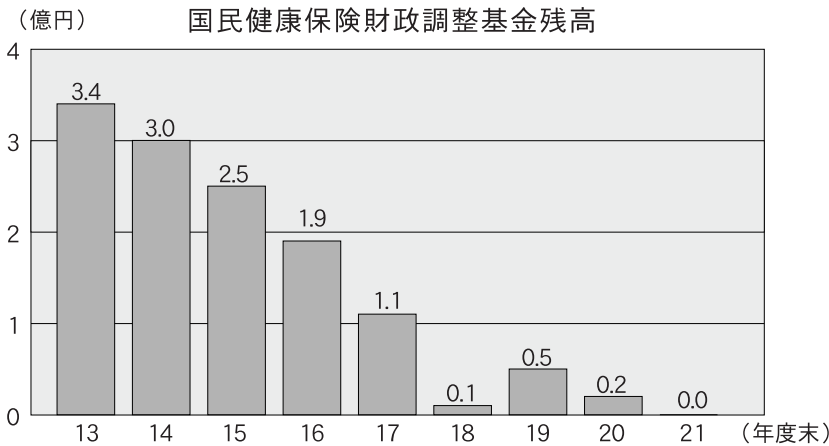
【その他】

医療に対して支払いの計算のもととなる診療報酬の引き上げなど。



◆医療費に見合った保険税の確保を

国保財政を健全に運営するために、保険税率を改定する・しないにかかわらず、毎年、医療費の動向や制度改正などの状況を把握し、保険税率が適正かどうかを確認する必要があります。



◆国保財政の安定運営と健全化のために

町では、国保財政の安定運営と健全化を図るため、平成19年度に保険税率を見直しました。以降、平成20年度に算定内容の変更は行ったものの、保険税率の引き上げは行っていません。

しかし、医療費が年々増加していることから、平成20年度に国保会計の貯金にあたる基金から2千900万円を取り崩し、今年度には1千960万円を取り崩す見込みであり、今年度末には基金が底をつくこととなります。

このような中で、増え続ける医療費に伴い、保険税の引き上げは避けられない状況となっています。町では、国保財政の現状を重く受け止め、適正な財源が確保できるように、現在、国保の運営協議会にて審議していただいています。引き続き、住民の皆さんに周知を図っていくよう考えています。健全な国保財政の運営に、皆さんのご理解とご協力をお願いします。